

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2026 年 10 月 27 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

- ・ 3 号機原子炉格納容器ガス管理設備については、点検計画に基づき抽気用ダクトホースの交換作業を行うことから、当該設備を一時的に停止する。

当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 24 条（未臨界監視）に定める施設運用上の基準「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は 1 チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行し作業を実施する。

当該設備の停止予定日は以下のとおり。

＜停止予定日＞

10 月 27 日

また、施設運用上の基準外への移行についての実績は別途お知らせする。

- ・ 点検計画に基づく抽気用ダクトホースの交換作業に伴い、当該設備を停止することから、10 月 27 日午前 10 時 11 分より特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項を適用し、計画的に施設運用上の基準外に移行した。

その後、当該設備については、抽気用ダクトホースの交換作業が終了したことから運転を再開し、当該設備の運転状況に異常がないこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、午後 3 時 18 分に特定原子力施設に係る実施計画Ⅲ第 1 編第 32 条（保全作業を実施する場合）第 1 項の適用を解除した。

なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。

- ・ 1 号機原子炉格納容器において一部の温度計指示値は、窒素封入量と排気量のバランスが変化した場合に、大気圧の変動に応じた温度変化が起こることを確認している。

本年 8 月以降、大気圧の変化に伴う温度変化の割合が、8 月以前と比べ大きくなってきていることから、窒素封入量の増加を行い窒素封入量と排気量のバランスを変更する。

なお、その他の原子炉圧力容器温度および原子炉格納容器温度、プラントパラメータには、有意な変動がないことを確認している。

＜原子炉格納容器窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量＞

（10 月 28 日）

窒素封入量：32Nm³/h→35Nm³/h

排気量：16Nm³/h(変更なし)

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

【サブドレン他水処理施設の状況】

一時貯水タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
A	運用目標値を満足 (採取日 10 月 22 日)	10 月 27 日 午前 11 時 14 分	—	—
K	運用目標値を満足 (採取日 10 月 23 日)	10 月 28 日予定	—	—

【地下水バイパスの状況】

一時貯留タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
グループ 2	運用目標値を満足 (採取日 10 月 20 日)	10 月 27 日 午前 10 時 17 分	—	—

【ALPS 処理水測定・確認用タンクの状況】

タンク群	分析結果	放出開始	放出終了	放出量
C	運用目標値を満足 (採取日 9 月 11 日)	10 月 26 日 午前 11 時 29 分	—	—

・放出を継続している ALPS 処理水測定・確認用タンク C 群の放出実績は以下の通りです。
放出実績：10 月 26 日午前 11 時 29 分～10 月 27 日午前 0 時 約 236m³

【構内および海域モニタリング結果の状況】

- ・地下水（1～4 号機護岸、H4・H6 タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路、海水（港湾内、港湾外、1～4 号機取水口内）、魚介類、海藻類等の分析結果は、至近の分析値と比較して有意な変動なし。
- ・なお、トリチウムを中心とした拡散状況や海洋生物の状況を今後継続して確認するため、2022 年 4 月から海水（港湾外）、魚類、海藻類のモニタリングを強化している（2022 年 4 月 20 日から試料採取を開始）。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果＞

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

＜福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果＞

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/

【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

＜原子炉＞

- ・1～3 号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）

＜使用済燃料プール＞

- ・1, 2, 6 号機使用済燃料プールを冷却中（3, 4 号機は燃料取り出し済み）
- ・5 号機使用済燃料プール（以下、「SFP」という）は、燃料プール冷却浄化系の弁の点検に伴い、10 月 26 日午前 10 時 10 分、冷却を計画的に停止した。

停止期間は 5 日間程度を見込んでいる。

停止時の SFP 水温は、23.8℃。冷却を 5 日間程度行わなかった場合の水温は約 39.2℃になると評価しており、施設運用上の基準外である 65℃には達しないことを確認している。

【1～6 号機の状況】

※プラント関連パラメータ等の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜水位・圧力・温度など＞

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/plant_data/

以 上

添付資料

- ・ [過去の実績（2026 年 1 月 1 日以降）（282KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2025 年 12 月 31 日）

- ・ [過去の実績（2025 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（297KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2024 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（349KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2023 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（325KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2022 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（406KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2021 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（480KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2020 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（344KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2019 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2019 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（345KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2018 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（292KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2017 年 12 月 31 日）

- [過去の実績（2017 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（322KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2016 年 12 月 31 日午後 3 時）

- [過去の実績（2016 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（385KB）](#)

参考資料（最終更新日時：2015 年 12 月 31 日午後 3 時）

- [過去の実績（2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（600KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成 26 年 12 月 31 日午後 4 時）

- [過去の実績（平成 26 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（722KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成 25 年 12 月 31 日午後 3 時）

- [過去の実績（平成 25 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（821KB）](#)

参考資料（最終更新日時：平成 25 年 10 月 22 日午後 3 時）

- 過去の実績（平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日）（638KB）

参考資料（最終更新日時：平成 24 年 4 月 7 日午後 3 時）

- 過去の実績（平成 23 年 3 月 11 日～12 月 31 日）（523KB）

※上記資料の最新版は、【「東北地方太平洋沖地震による影響などについて」実績ファイル】ページをご覧ください。